

## 三代川遊水地

【用地状況(R5.12月末時点)】

- ・令和4年度：用地先行取得開始
- ・令和5年度：用地取得完了見込み（地権者数：69名中 69名契約済み）

【遊水地諸元】

- ・面積：約10ha
- ・遊水地容量：約34万m<sup>3</sup>

## 目安遊水地

【用地状況(R5.12月末時点)】

- ・令和5年度：地元調整中

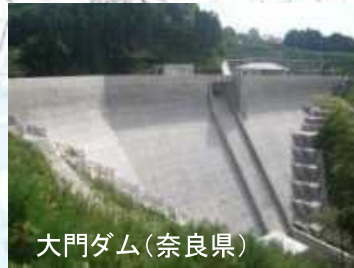
【遊水地諸元】

- ・面積：約11ha

- 既存ダム（狭山池ダム、天理ダム、初瀬ダム、白川ダム、岩井川ダム、大門ダム、滝畑ダム）を洪水調節に最大限活用するため、事前放流により容量を確保し、ダム下流の浸水被害軽減に努める。
- 令和3年5月10日に「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律」が公布され、既存ダムの事前放流をより効果的に実施する必要があることから、河川法改正により、洪水調節機能の向上の取組の継続・推進を図るため利水ダム等の関係者が参画する「ダム洪水調節機能協議会」を令和5年6月に開催。



狭山池ダム(大阪府)



大門ダム(奈良県)



滝畑ダム(大阪府)

- 基準地点
- 主要地点



岩井川ダム(奈良県)



白川ダム(奈良県)



天理ダム(奈良県)



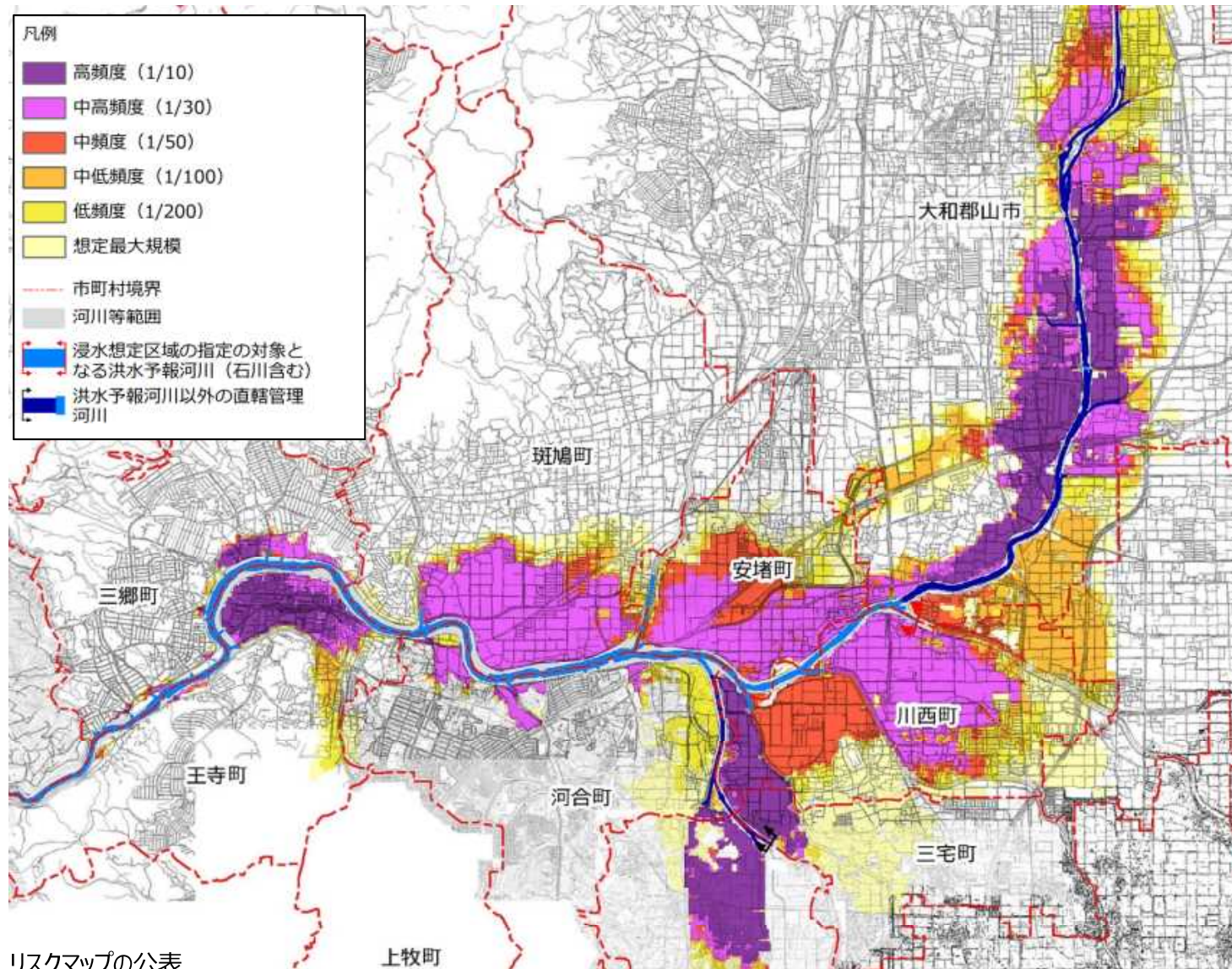
初瀬ダム(奈良県)

凡例	
	国土交通省所管(道府県管理)ダム(目的)
	利水ダム(目的、管理者)
	県境
	市町村境
	流域界
	大臣管理区間

F:治水 N:流水の正常な機能の維持 A:農業用水 W:水道用水 I:工業用水 P:発電

## ○リスクコミュニケーションの充実

- ・災害時における関係機関及び住民との避難行動の判断に必要な河川水位に関する迅速な情報提供・収集に向けた取組等について推進することとしており、大和川河川事務所では、リスクマップの公表、減災対策協議会における関係機関との情報共有、マイタイムライン作成支援などを推進。



リスクマップの公表



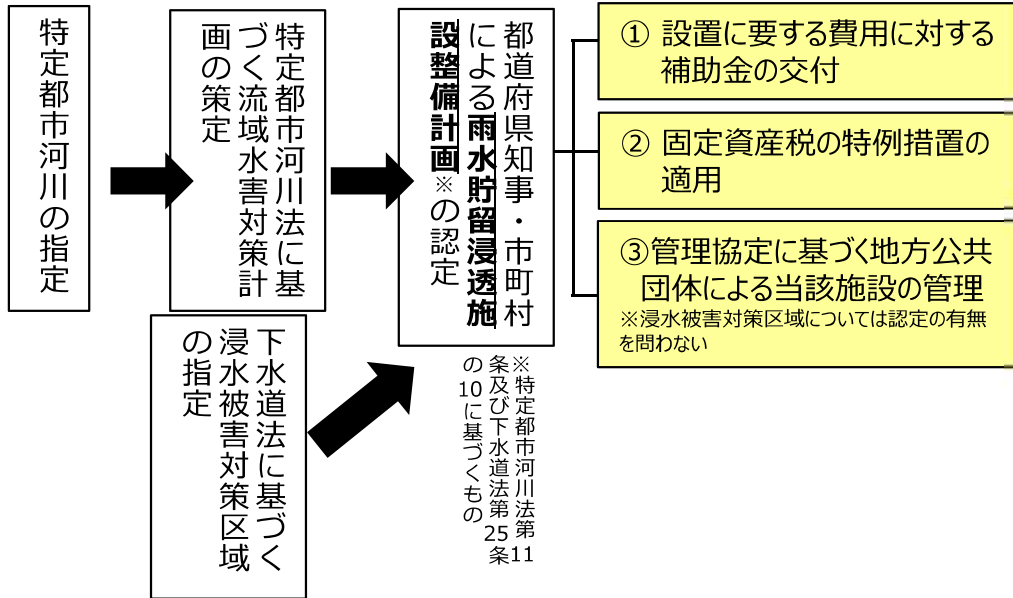
奈良県域減災対策協議会の開催



王寺町久度地区における自治会長への  
マイタイムライン作成会 18

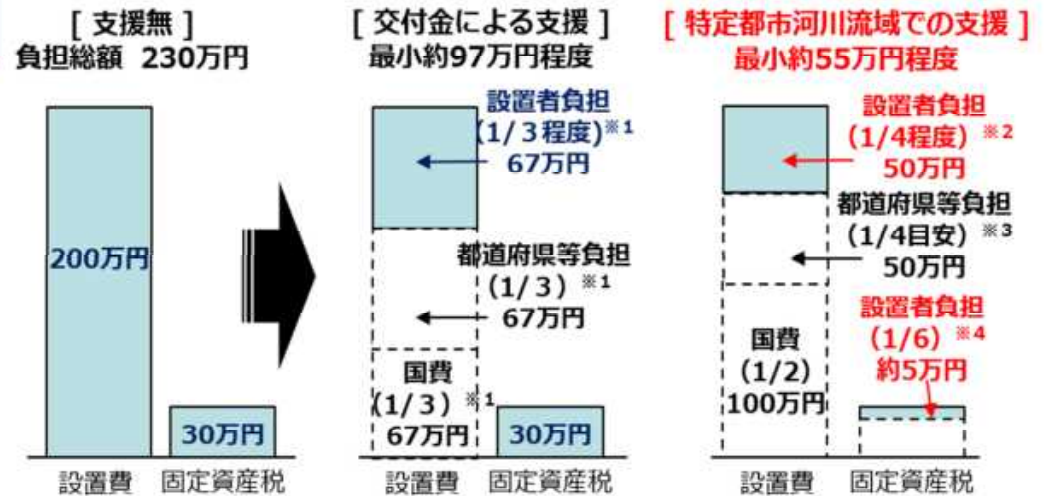
- 民間事業者が行う一定規模以上の容量や適切な管理方法等の条件を満たした雨水貯留浸透施設整備に係る計画認定制度を創設。
- 計画の認定を受けた民間事業者等は、雨水貯留浸透施設を整備する場合、予算・税制等の支援を受けることができます。

## 雨水貯留浸透施設整備計画の認定の手順 認定の主な効果



<交付金による支援> (R3.4~)  
 予算: 国の補助率: 1/3 但し、民間企業等が実施する場合は、地方公共団体が助成する額の1/2

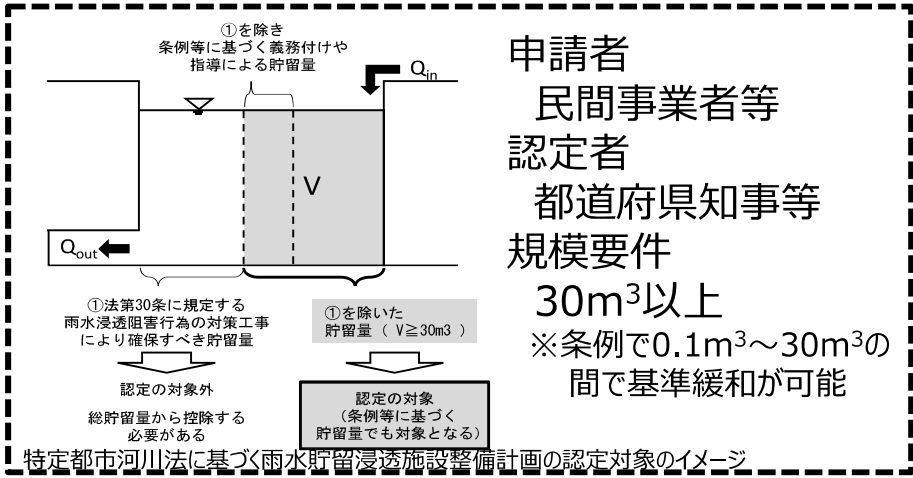
<特定都市河川流域での支援> (R3.11~)  
 予算: 国の補助率: 1/2  
 税制: 固定資産税の課税標準を市町村の条例で定める割合※に軽減  
 ※1/3を参酌して、1/6~1/2の範囲



注) 試算上の金額は全て仮の金額です  
 また、支援の適用に当たっては施設の規模等の要件があります

- ※1 国の補助金を最大限活用した場合(地方公共団体が設置費の2/3を助成する場合)としています
- ※2 一級河川の指定区間又は二級河川の区間に設置される場合の国の補助は1/4を目安に都道府県等が負担する場合に限るものであり、この場合、設置者負担は1/4程度となります(一級河川指定区間に設置される場合の国の補助における都道府県等の負担に関する規定はありません)
- ※3 ※2における都道府県等の負担額の5割について特別交付税措置を講ずることとしています
- ※4 市町村条例において1/6の課税標準とした場合(参酌標準: 1/3)としています

## 雨水貯留浸透施設整備計画の認定について



- 大和川流域の住民の方々に自分毎として流域治水を知ってもらう啓発活動を推進。
- 流域治水のロゴマーク作成、毎月発行の大和川Letter、大型商業施設でのイベント開催などを行い、流域治水を啓発。

## 大和川流域治水ロゴマーク作成



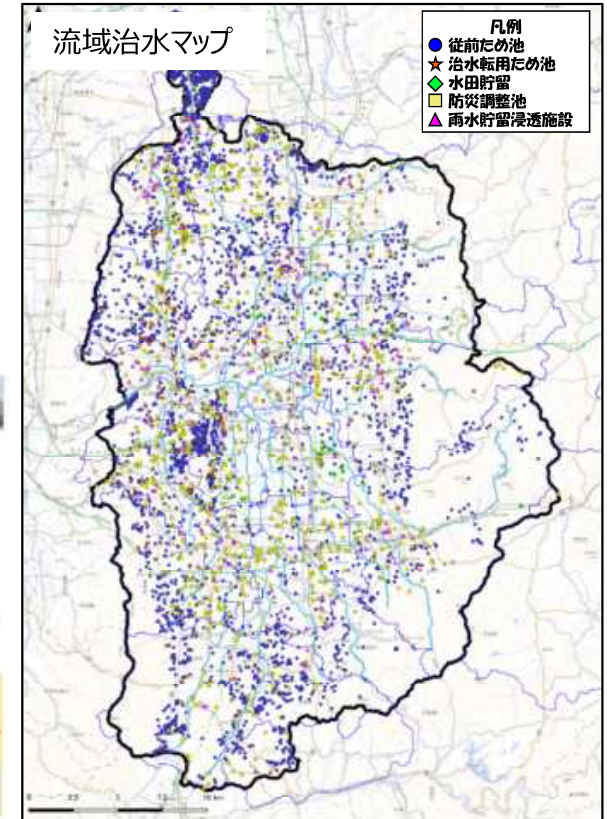
すみずみで守る、  
を主流に。

どこよりもつよい流域治水をともに

- ・「川」の字を水を想起させる青色で表現し、安心・安全を想起させる緑色で示される「行政」「企業」「住民」の3つの主体による取り組みが川の字を網の目のように抑え、紡ぐことで、広い地域を強く守っていく力になっていく拡張性も表現。
- ・流域治水では、行政主導のハード整備だけでなく、民間企業や住民一人ひとりの取り組みが複合的に行われることで、網の目的にきめ細かく守っていくことを「すみずみで守る」と表現。

## 流域Letterの配布や治水施設マップの作成

- ・流域治水を広く知ってもらうため、毎月大和川流域Letterを発行。事務所での配布だけでなく、ホームページでも公表。
- ・大和川流域の治水ため池や雨水貯留浸透施設など各種貯めものの位置図を作成。



## 2月17日 イオンモール大和郡山にて流域治水イベントを開催

- ・流域住民の方に広く流域治水を知ってもらうためのイベントを開催。
- ・流域治水の取り組みを動画や模型を用い、「見る」「知る」「感じる」観点で広く理解いただく取り組み。
- ・理解するだけでなく、ハザードマップの配布やマイタイムライン作成など、住民の方も自らの確に避難できるようにイベント内で勉強会も開催。

**参加無料**

**2024年 2月17日(土) みんなで見る・感じる・知る・作ろう 大和川の流域治水**

**場所** イオンモール大和郡山 1F北小路コート **時間** 10:00~18:00

- 見る** 流域治水動画で学ぼう!
- 感じる** 流域治水模型で体験!
- 知る** 近くの大和川を知ろう! 大和川流域番地
- 作る** マイタイムライン(避難計画)をつくらう!

その他遊べるブースもあります!

**主催** 国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所  
**後援** 奈良県、大和川流域水害対策協議会(奈良県下23市町村)  
**協賛** 国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所 流域治水課  
〒833-0033 大和郡郡山大字2丁目1番地 TEL: 077-671-1281

